

広報



みさわ

9

2013年
(平成25年)
No.707
月号

02 三沢まつり 寺山修司の山車

特集



ファームフェスタ in 斗南 8月4日／道の駅みさわ 斗南藩記念観光村

畜産共進会に続いて開催された搾乳体験。乳牛の大きさと力強さに驚きながら、初めての乳搾りで生命の不思議に触れる子どもたち。思わずこぼれる喜びの笑み。

CONTENTS

- 10 市政の動き
- 18 マックチャンネルガイド
- 20 出来事通信
- 22 トピックス
- 23 市民提案事業レポート
- 24 みさわ情報ネット
- 32 三沢魂

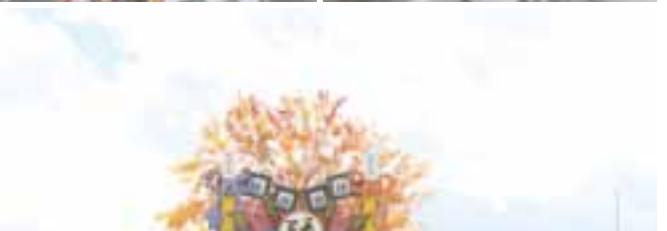


国際サマーフェスティバルでは、自作した神輿を担いだ企業や団体が、威勢のいい掛け声で神輿を宙に舞わせ、よさこいチーム『いぶき』は見事な演技を披露。沿道に詰めかけた観客を楽しませた。

最終日、25日の『お還り』は、日中の山車合同運行。天候に恵まれた今年の祭り。各祭礼の参加者は、厳しい暑さも夏祭りの醍醐味と楽しんだ。そして、いよいよ三沢まつりを締め括る、30ロードでの15山車別れ。全ての山車がすれ違いながら、けんか太鼓やエールを交わし、終わる祭りを惜しみつつ、来年に向けて再会を約束した。

三沢まつり

特集



三沢の夏最大の祭典

今年もやつてきた三沢の夏最大の祭典。山車や祭りばやしにパレードなど、多彩な内容に多くの人々がにぎわった。

8月22日の前夜祭を皮切りに、その翌日から3日間にわたり、「三沢まつり」が開催された。

初日、23日の『お通り』では、7年目となる夜間の山車合同運行を実施。闇夜に鮮やかな光を放つ各祭礼自慢の山車が、中心街を練り歩いた。

翌日の中日は、バラエティに富んだ催しが満載。まずは訪問中の姉妹都市ウエナツチパレー親善使節団や、中高吹奏楽部・自衛隊音楽隊などがパレード。多彩なパフォーマンスを繰り広げる大仮装行列と、涼しげで風情ある流し踊りが後に続く。最後の『三沢



競い、たたえ合う前夜祭

8月22日、全14祭礼の山車と祭りばやし奏者がミスビードームへ集結。三沢まつり前に、山車が放つ多彩な光に囲まれた特設ステージで、祭りばやし競演会が行われた。

日々練習を積み、各祭礼から選ばれた選手たちは、祭礼の仲間たちから応援を受けながら迫力ある演奏を披露。全ての演奏が終わると、先に行われていた山車の審査結果とともに競演会の結果が発表され、優秀な成績を収めた祭礼が表彰された。祭りばやしと山車製作の技術が認められた瞬間。共に競った他の祭礼の中、仲間たちと心から喜びを分かち合っていた。



山車審査会

審査結果

最優秀賞	スーパー歌舞伎「ヤマタケル」	中央町二丁目祭礼委員会
優秀賞	~新・竹取物語~ 大納言大伴御龍の首の珠取りの場 京劇西遊記「孫悟空大鬧天宮」 陰陽師 安部晴明京の闇を征す	平畠祭礼委員会 中央町一丁目祭礼委員会 大通り祭礼委員会
特別賞	童話「不思議の国のアリス」 日本昔話 太郎伝説 光呼ぶ アメノウズメ	三沢市職員互助会 桜町二丁目内会祭礼 岡三沢祭礼委員会

※薬師町祭礼は審査を辞退

祭りを盛り上げるために、継承者を育てていきたい

坂上 拓哉さん 中央町二丁目祭礼【山車審査会 最優秀賞】

子どもたちの期待に添えるよう、そして地域の皆さんに支えてくれたおかげで、ここまで頑張ってこれました。5段階、6段階で動く仕掛けが見どころ、大きくダイナミックにヤマタケルを表現できたと思います。

これからも三沢まつりを盛り上げるために、継承者を育てていきたいと思います。

INTERVIEW



競宴

三沢まつりの花形、山車とおはやし。前夜祭は年に一度、全祭礼が競い合う宴。

三沢まつり 前夜祭



祭りばやし競演会

審査結果

1位	ふるまき祭礼委員会
2位	中央町二丁目祭礼委員会
3位	三沢市職員互助会
4位	平畠祭礼委員会
5位	岡三沢祭礼委員会
特別賞	銀座連合町内会祭礼



ふるまき祭礼全員の熱い想い込めた、こだわりの太鼓

黒澤 一誠さん(右) ふるまき祭礼【祭りばやし競演会 1位】



選手はもちろん、それを支えた人たち、ふるまき祭礼全員の祭りに対しての熱い想いがこの結果につながったのではないかと思います。出場した選手に「ありがとうございます」として「これからも、長く将来にわたって、ふるまきの祭りを盛り上げようぜ」と伝えたいです。

こだわりの太鼓を、三沢の中で一番にアピールできれしいです。



中央町二丁目



桜町二丁目



平畠

寺山修司の山車

今年で没後30年を迎えた
寺山修司と薬師町祭礼が力を合わせ、
幻想的な山車を生み出した。



薬師山車組

夏最大の祭典、三沢まつり。その花形といえば、やはり豪華絢爛な山車ではないだろうか。夜間の「お通り」では闇に放つ多彩な光が、日中の「お還り」では細部まで作り込まれた造形美が、沿道を埋めた観客を虜にする。三沢まつりの始まりは、古間木地区で火事が多発した大正時代。同地区的不動神社、権現神社、薬師神社にまつる神々を楽しく遊ばせることに起因と言われている。当時山車は、俵を積んだ荷車だった。2003年から全ての祭礼が山車を自作するようになり、製作技術は年々向上。三国志、童謡、昔話など毎年異なるテーマもバラエティに富み、祭礼ごとに特色やこだわりも増えてきた。

そして、自作を始めて11年目となる今年、一際異彩を放つ山車が現れた。サイケデリックなピンク色の外装。巨大な魔女の顔に、独特の世界観を漂わせる人形たち。これは、寺山修司が書いた作品をモチーフにした薬師町祭礼の山車。寺山修司記念館を運営するテラヤマ・ワールドと薬師町祭礼が協力し、幻想的な山車を作り上げた。

『寺山修司の山車』作り

発端は二年前にさかのぼる。三沢まつりの前夜祭を見た、寺山修司の元夫人で市の観光大使も務める九條今日子さんが、三沢まつりの前夜祭を見て、美しさと共に山車に盛り込まれた人形や仕掛けに寺山修司の演劇舞台の要素を見発見。三沢まつりを観光資源として全国にPRすることにもつながればと、寺山修司の没後30年にあたる今年の祭りに合わせた『寺山修司の山車』を作りを提案した。

寺山修司がコラボレーションを好んだことから、地域の人たちと一緒に山車を作り運行することを考えたテラヤマ・ワールド。少年時代、寺山修司が身を寄せた父・八郎

の実家があつた古間木地区の薬師町祭礼に昨年、山車の共同製作を持ち掛けた。薬師町祭礼は三沢まつりの発祥三社の一つ、薬師神社の氏子であり、伝統ある祭礼の一つである。しかし、「三沢のためになるならば」と快く承諾。テラヤマ・ワールドと薬師町祭礼が協力して、寺山修司の山車を作ることとなつた。

製作を前に、まず決めなければならなかつたのは山車のデザインである。毎年、子どもが楽しめる、わかりやすいテーマの山車を作ってきた薬師町祭礼。その想いを壊さないようテラヤマ・ワールドは『人魚姫』を題材に選んだ。

『人魚姫』は、寺山修司がアンデルセンの童話をもとに台本を書いた人形劇。原作に沿いながらも独特的表現で描かれており、今なお語り継がれており、今なお語り継がれている名作である。九條さんは、その劇で美術を担当した宇野亜喜良氏に山車のイメージデザインを依頼。前代未聞となる『寺山修司の山車』作りが、いよいよ始まつた。

製作に取り掛かったのは今年2月。まずは、昨年の山車を解体することから始まつた。薬師町祭礼山車組は今回、外装を全て交換、人形や飾りを大きく展開する仕掛けも大幅に変更し、山車本体をもじくした。5体の人形の頭・腕

部などは宇野氏らが、その他部分は薬師町祭礼山車組が製作。約2mの巨大な魔女の顔は、薬師町祭礼が作ったものを宇野氏らが仕上げ、塗装を行つた。地域の人々とアーティストが協力して山車作りは進んでいった。

そして、構想から2年。半年以上の製作期間を経た8月22日、遂に山車が完成。その日の三沢まつり前夜祭で、集まつた多くの人々に披露された。全祭礼14台の中では比較的小さな薬師町祭礼の山車。しかし、その周りには多くの人々が集まり注目を集めた。地域の人々と宇野氏の手で生まれた寺山修司の山車は、三沢のまつりに新たな歴史を刻むこととなつた。

寺山 修司 Syuji Terayama

青森県で生まれ、18歳で歌壇にデビュー。1967年に結成した演劇実験室『天井棧敷（てんじょうさじき）』は多数の公演を行い、海外でも高い評価を受けた。三沢で多感な少年時代を過ごしており、人間性を形成する上で重要な役割を果たしたと言われる。詩人、エッセイスト、小説家、作詞家、映画監督、劇作家など、幅広い分野で活躍し、1983年に47歳で急逝。

今年は寺山修司没後30年にあたり、三沢市の寺山修司記念館はもちろん、全国で記念イベントなどが開催。今なお多くの人々に影響を与え続けている。



寺山修司作

人魚姫

アンデルセンの童話をもとに、宇野亜喜良氏らと作った人形劇一座『人形の家』のために書いた寺山修司初期のミュージカル風台本で1967年に初演。人形のデザインと美術を宇野亜喜良氏が担当した。

Story

人魚のマルドロールは15歳の少女。大人になった姉たちが行った人間の世界に憧れを抱くが、怖くもあり、行く勇気がない。ある時、海底に沈んできた船に乗っていた船長ジークフリートにマルドロールは恋をする。そして海の魔女に会い、美しい声と引き換えに、尾びれが足になる薬をもらってそれを飲む。

人間になったマルドロールは、気を失い海を漂っているところをジークフリートに助けられ、彼の屋敷に住まわせられる。一月が経ち、ますます好意を寄せるマルドロールを、ジークフリートもまた好きになっていく。そこへ婚約者のマリーが旅行から帰ってくる。

マルドロールより親が決めた婚約者を取ったジークフリート。婚礼の夜に、マルドロールは姉・メメから短刀を手渡される。「日が昇るまでにジークフリートの心臓を突き刺し、あたたかい血が足にかかると人魚に戻れるが、そのままだと人間にも人魚にも戻れず泡になって消えてしまう」と告げて。マルドロールは短刀を投げ捨て、自ら海に飛び込む。

今回の山車用に宇野氏が描いたイメージ画では、手前中央に人魚のマルドロール、その後ろに巨大な海の魔女の顔。左奥にはジークフリート、右奥には婚約者マリーが並ぶ。



▲宇野亜喜良氏が描いた寺山山車のイメージ画



寺山 修司 Syuji Terayama

青森県で生まれ、18歳で歌壇にデビュー。1967年に結成した演劇実験室『天井棧敷（てんじょうさじき）』は多数の公演を行い、海外でも高い評価を受けた。三沢で多感な少年時代を過ごしており、人間性を形成する上で重要な役割を果たしたと言われる。詩人、エッセイスト、小説家、作詞家、映画監督、劇作家など、幅広い分野で活躍し、1983年に47歳で急逝。今年は寺山修司没後30年にあたり、三沢市の寺山修司記念館はもちろん、全国で記念イベントなどが開催。今なお多くの人々に影響を与え続けている。



INTERVIEW

イラストレーター

宇野 哲喜良さん (79)

1968年から寺山修司の天井桟敷の宣伝美術や舞台美術を手掛け、99年紫綬褒章、10年旭日小綬章ほか多数受賞。舞台美術の分野で活躍中。



INTERVIEW

寺山修司記念館

寺山 幌人さん (47)

記念館に勤務し、さまざまな活動を通して寺山修司の偉業を後世に伝えるために尽力。

寺山さんが亡くなつて30年。改めて『天才』だったことを感じます。多彩な才能や要素を持った人だった——。そんなことを考えながらデザインを描きました。

(山車の出来について) すごく満足しています。人形の顔は手を加えましたが、ボディはどうなつか思つていました。しかし、衣装もいいし、中の肉体の感じもデッサンがしっかりしていて、満足しています。想像以上でしたね。寺山さんもすごく面白がっているのではないかでしょうか。寺山さんは、客が喜んでくれるとやはり嬉しかったようですから。

私だけでなく、いろいろな才能と一緒に作ることで今までにないものができました。それぞれの力が結集していい力が發揮できたことを嬉しく思います。

きれいな山車になりました。皆さんにも、驚きとともに喜んでもらえたのではないでしょうか。奇抜な色であったり、和洋のコラボレーションであったり、この山車には寺山修司の感覚や「見せることへの意識」が生きているように思います。

テラヤマ・ワールドとの共同製作ということで、薬師町祭礼山車組の皆さんは、自分たち本来のペースを早めて作業しなければなりませんでした。仕事や家庭を持ちながらの作業は毎日2時~3時まで及び、体力的に精神的にも例年以上に厳しかったことと思います。そんな厳しい条件の中で、最後まで諦めないで一緒にやってくれた薬師町祭礼山車組の皆さんは本当に素晴らしいでした。心から感謝しています。

新たな世代の若者たちへ

ある日の作業中、宇野氏の作業を後ろからじっと見つめる少女がいた。囃子の練習に来ていた新山佳乃さん(中三)だ。普段、絵を描くのが好きで、芸術の道を志している彼女は、「髪の影の付け方とかりアル。色の組み合わせが想像と結構違つて面白いです」と、その場を片時も離れず学んでいた。すると、宇野氏が作業途中の筆を彼女に預けた。緊張しながらも、日本を代表するイラストレーターと共に作業をした経験は、彼女の大きな



な財産になつたに違いない。

自作を続ける三沢まつりの山車。特に今回の『寺山修司の山車』は、関わつた多くの若者に刺激を与えたことだろう。短歌や俳句などを通じて常に、若い世代へとメッセージを送つてきたという寺山修司。この世を去つて30年、縁

を何より大切にしている。

三沢まつりは地域の祭り。山車や囃子、神輿や踊りなど参加する方法は多くある。地域やコミュニティの人々と力を合わせ、祭りに参加することで、楽しさは何倍にもなり、地域への愛情や誇りも生まれるに違いない。



子どもたちのために、これからも山車を作り続けたい

いやあ正直、疲れました。眠いです。

今回は、山車の本体も仕掛けも飾りも全て作り替えました。その作業が一番大きくて苦労しましたね。山車を作る人が減る中で、祭りに間に合わせなければいけないというのもあって、連日深夜までの作業になりましたが、家族や町内の人たちの協力もあって何とか形にすることができました。みんな、よくやつた。たいしたものです。この山車の出来を決めるのは私たちではなく、見てくれた人たちだと思います。

(薬師町祭礼の) 山車作りは子どものため。今回は、寺山修司という大きな題材があつたけれど、主役は子どもです。子どもたちを乗せるために、これからも山車を作り続けたいと思います。



薬師町祭礼山車組

大久保 光留さん (32)

2004年から薬師町祭礼の山車作りに携わり、2006年からは製作部長に。今回の山車製作でも中心的な役割を果たす。



山車作りを支えた「協力」

三沢まつりの山車を全祭事が自作するようになって11年。どの祭礼も山車作りに関わる人は少なく、高齢化が進んでいる。それでも、地域やその地域の未来を担う子どもたちのために、限られた時間の中で毎年、見事な山車を作り続けている。休息や家族と過ごす時間を削り、無償で毎日夜中まで作業を続けることは容易ではない。三沢まつりで見る人々の熱意と努力によつて支えられている。

大きな話題となり、数々のメディアから注目され、メデイアから注目され、多くの人を楽しませた「寺山修司の山車」も例外ではない。九條今日子さんや宇野氏、テラヤマ・ワールドの力はもちろんだが、薬師町祭礼の山車の小ささには理由がある。薬師町内は坂が多く、道幅も狭い。仕掛けを広げた、一番見せたい姿で町内を運行できるよう、地域に合つた形にしているのだ。今回、山車のほとんどを改装する作業は例年以上に時間と労力を必要とした。ところで、薬師町祭礼の山車の小ささには理由がある。薬師町内は坂が多く、道幅も狭い。仕掛けを広げた、一番見せたい姿で町内を運行できるよう、地域に合つた形にしているのだ。今回、山車のほとんどを改装する作業は例年以上に時間と労力を必要とした。だからこそ、薬師町祭礼は地域の人々

特集【三沢まつり】

・寺山修司の山車

完

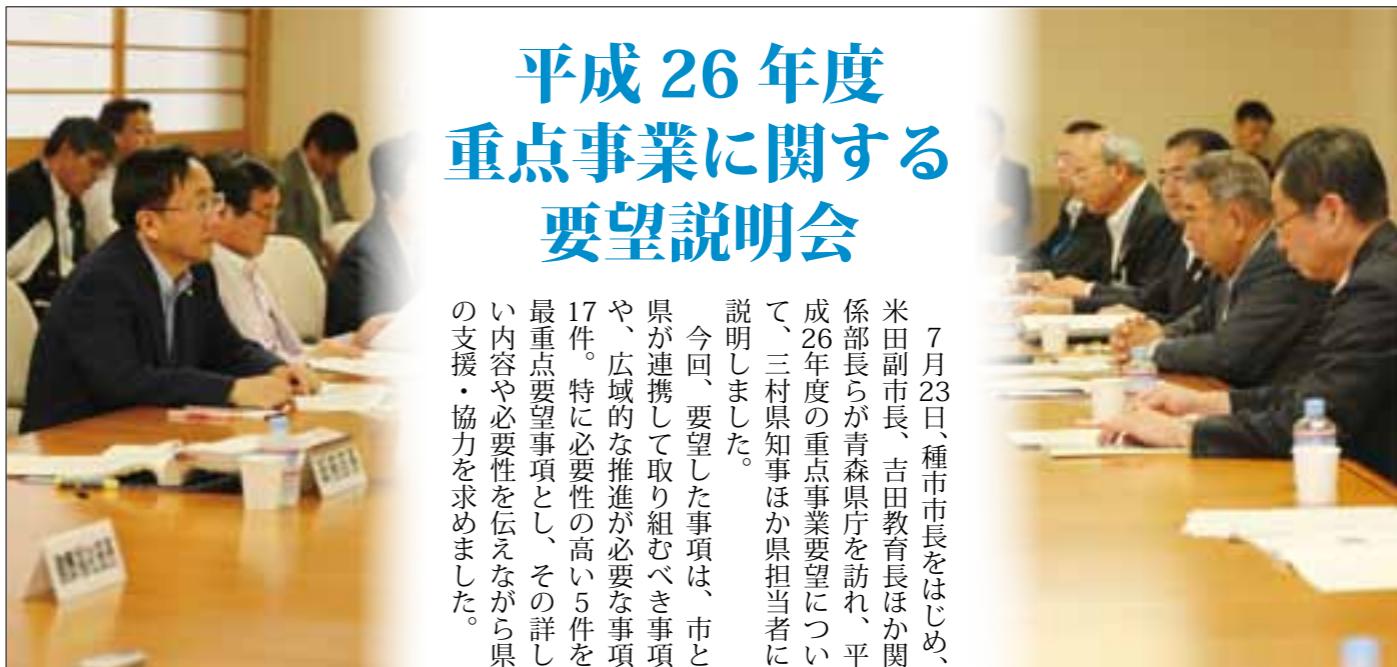


地域の声を市政に 町内会長会議

7月30日、公会堂で、町内会長会議が開催されました。地域の人々によって自主的に組織され、活動する町内会。その活動や暮らしの中で抱える課題を解決するための要望や提案を、地域の代表である町内会長と市長、市職員が一堂に会し話し合うのがこの会議です。今回は、108町内会から73人の会長、市側からは種市市長はじめ、米田副市長、吉田教育長ほか各部課長らが出席しました。

冒頭で、長年にわたり町内会長を務め、地域の福祉向上・自治振興に尽力した功労者に、種市市長が表彰状を授与。その後連合町内会の川畑会長や、各地区内会連絡協議会の会長が、主な要望などを市側に伝え、市担当部長らが回答しました。最後に、町内会長たちを「おもてなし」として行政がやるのではなく、どうしたらまちを活性化し、楽しい生活を送つていいけるかということを考えながらまちづくりに参加していただきたい。皆さんからいただいた貴重なご意見をしっかりと受け止め、最大の努力をしていきたい」と伝え、引き続きの協力を求めました。

会議中で述べられた要望および回答の概要是、以下の通りです。



平成26年度 重点事業に関する 要望説明会

7月23日、種市市長をはじめ、米田副市長、吉田教育長ほか関係部長らが青森県庁を訪れ、平成26年度の重点事業要望について、三村県知事ほか県担当者に説明しました。

今回、要望した事項は、市と県が連携して取り組むべき事項や、広域的な推進が必要な事項17件。特に必要性の高い5件を最重要要望事項とし、その詳しい内容や必要性を伝えながら県の支援・協力を求めました。

(仮称) 青森県総合英語研修センターと県立高等教育機関の設置
▽グローバル社会に対応できる人財育成のため、海外事前研修や教員の学習の場の機能を併せ持つ総合英語研修センターと国際系の県立高等教育機関の設置

青い森鉄道三沢駅周辺の整備
▽駅周辺地域の活性化と生活交通確保維持のため、バスター・ミナル整備を含む三沢駅周辺整備への全面的な支援・協力

三沢飛行場第二滑走路の早期着工と航空機産業等の企業集積
▽第二滑走路の早期着工と三沢市の特色を生かした航空機産業の誘致

三沢市連合町内会
要望 午後8時まで延長される投票時間を、午後6時までに短縮してほしい。

西古間木地区町内会連絡協議会
要望 県道十和田・三沢線から上北道路に連結する取り付け道路を整備してほしい。

東古間木地区町内会連絡協議会
要望 駅東側の古間木川に架かる橋に、自転車も通れる歩道を設置してほしい。

回答 現在、行われている幹線道路整備事業が完了すれば、古間木川周辺の交通の流れが大きく変わると予想されるので、今後の状況を踏まえながら検討していきます。

回答 現在、行われている幹線道路整備事業が完了すれば、古間木川周辺の交通の流れが大きくなり、この通りは通学路でもあるので、交通事故防止のためにも草刈りをしてほしい。

回答 信号機の設置については、三沢警察署を通じて青森県公安委員会に要望します。草刈りについては、市でも実施しているが、同時に他の場所でも草刈りを行っているため、回数を増やすことは難しいです。

**市長室から
こにちは**

「大空のまち」の風

夏の祭りもひと段落し、長かった（？）夏休みも終わり、学校へ通う皆さん、もう頭を切り替えているのではないかと思います。いい思い出はできたでしようか。

今年は○周年という大きな節目を迎える団体や施設がとても多く、そういうた周期があるのか分かりませんが、いずれにしても大変喜ばしいことであるなど感じています。先月は、その中のひとつ、開館10周年を迎えた県立三沢航空科学館の記念式典に出席しました。多くの人々に親しまれた施設として、大空のまち三沢の観光振興にも大いに貢献されていることに感謝を申し上げました。科学館には、戦後初の国産旅客機であるYS-11が展示されていますが、五戸町出身の木村秀政氏とともに設計に

そして、今月15日には三沢基地航空祭が開催されます。科学技術の結晶のひとつである航空機は、「挑戦する心」を育むものであり、より感動が大きくなるのではないかと思っています。

技術の進歩した現代の航空機たちに触れていただくと、皆さんの心にも風が吹くのではないかでしょうか。

特産品開発促進補助金制度 2次募集を行います

観光物産課 地産販売推進室（内線 522・523）

市では、地元農産物を使った新たな商品開発を支援する補助金制度の2次募集を行います。商品開発のアイデアはあるが資金面に不安があるといった方はもちろん、既に活動している加工団体も対象となります。



三沢の特産品を使った新たな商品開発に、ぜひ、ご利用ください。

補助金額 事業費の80%の金額

***機器導入に要する補助は上限200万円**

（三沢産の米粉を使って製麺する機器の購入など）

***商品開発や販売促進等に要する補助は上限100万円**

（三沢産の野菜を使った菓子の販売など）

対象

市内在住の個人、または市内に活動拠点を置く団体

応募方法

観光物産課に設置および市ホームページに掲載する様式に記入の上、持参または郵送でお申し込みください。

募集期間 9月9日（月）～9月30日（月）

応募・問い合わせ先 観光物産課（内線 522・523）

「夕暮れ時の事故には特にご注意を」 秋の交通安全県民運動

生活安全課（内線 316）

秋の交通安全県民運動が9月21日（土）～30日（月）の10日間、実施されます。日没が早まる時期ですので、夕暮れ時の事故には、特にご注意ください。

- ▷ 子どもや高齢者は特に交通事故に気をつけましょう。
- ▷ 夕暮れ時と夜間の歩行中や自転車乗用中は、事故が多発します。十分に気付けましょう。
- ▷ 自動車に乗るときは、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底しましょう。
- ▷ 飲酒運転を根絶しましょう。



交通・自転車事故に遭われた方は見舞金の請求を忘れずに

青森県交通災害共済組合（一日一円保険）に加入している人が、交通事故や自転車によるけがで病院に通院した場合は、治療日数に応じた見舞金が支給されます。

請求期限は事故に遭った日から1年以内です。お気軽にお問い合わせください。

※平成26年3月末まで、平成25年度の加入も随时受け付けています。（会費350円）

問い合わせ先 生活安全課 安全係（内線 316）

「市長と語ろう住民懇談会」 参加者を募集します

広報広聴課（内線 215）

まちづくりへの提案や思いを市長と語り合いましょう。「人とまちみんなで創る国際文化都市」の実現に向け、市民活動団体と市が協働できることは何か。建設的なご意見やご提案をお待ちしています

日 時 11月11日（月）18:30～20:30

場 所 国際交流教育センター 2階第1・2研修室

テー マ 「協働のまちづくり」

対 象 三沢市で活動している市民活動団体

※参加者は各団体から1人

定 員 20人（先着順）

応募方法 ①住所②団体名および参加者氏名③電話番号

④話したいことの主な内容（簡単に）を記入し、郵送、FAXまたはEメールで応募してください。

応募締切 9月30日（月）

応募・問い合わせ先

広報広聴課 市民協働推進係（内線 215）

〒033-8666 三沢市桜町1丁目1番38号

FAX 52-5655 Eメール koho@city.misawa.lg.jp



市長と語ろう住民懇談会

「子育てと教育」



8月6日、公会堂で「市長と語ろう住民懇談会」が開催されました。この懇談会は、三沢市を「住んでよかった」と思えるまちにするために、地域住民と行政が地域の課題や将来像について語り合い、広く集めた意見や提案を今後の市政運営に反映させることを目的として開催するものです。今回は「子育てと教育」をテーマに、参加した保護者19人が種市市長を囲み、日頃考えていた意見や提案を出し合いました。

懇談会の中で参加者から出された意見や提案の概略は、以下のとおりです。

（参考）**参加者** ■種市市長 部関 係部長からの説明

■義務教育以下の子どもの医療費について、完全無料化できることないでしょうか？

■三沢市でも、昨年から条件付で中学生以下の医療費を無料としています。完全に無料化になると、予算が増大することか

ら、所得制限の有無には研究の余地があると思います。ただし、

■生徒数が激減している学校もあり、学区の変更を考えてもう

えないのでしょうか？

参考のためにそこに学校が建てられているのか、教育の原点を考え、目的も無く他学区に行くことは規制をかけてほしい。

ただし、状況が変われば学区の変更もいいと思います。

市街地の学区変更是難しことあると思います。貴

いところもあると思います。貴

重なご意見をいただきました。貴

変更もいいと思います。

市とて何を優先すべき

か。検討すべき課題の一つと考

えていきます。

市子育てについての課題は多く、全てを一度に解決はできません。市として何を優先すべきか。検討すべき課題の一つと考えています。

参考子どもがサッカーをしていて冬は廃校の体育館を借りることも多いです。その電気代を半分でも補助してほしい。

市経費の補助は難しいですが、

総合体育館の新設を計画中の他、市民の森ケートボール場の

多目的化の改修案もあります。

市満足はいかなくとも、何とか工夫してやっているところです。

参考通学路における危険個所の改善を、どのような優先順位で行つていくのでしょうか？

市部早急に対策が可能な部分はすぐに対策を実施しています。団体との協議が必要なものも、時間がかかることが多いですが、気が

付いたことほどんどん挙げてください。

参考新森・谷地頭線通りに避

難道としても使える歩道を整備

してほしい。

市大変貴重な意見として受け止めておきます。

参考親が子どもと向き合って遊び方を工夫を設置して、雨天時の子ども遊び場にできればいいなと思

います。

参考廃校利用は事故の危険性もあるので簡単にはいきませんが、児童館の在り方も含めて考えて

いきます。

参考その他にも、最近はスポーツ

をしない家庭が増えていること

から「家庭でのスポーツや健康づくり」についての意見交換が

され、また、「市として一つに

なり、あいさつを習慣化する運

動を実施してはどうか」といつ

た提案などを挙げられました。

参考最後に種市市長は、「まちづ

くりは市民が主役です。その主

役にどう応えるかが行政に求め

られるもの。効率よく最大の効

果を挙げなければなりません。

皆さんからいただいた意見や提

案を今後の行政の参考にさせて

いただきます」と話し、参加者に感謝しながら、まちづくりへの協力を求めました。

「災害に強いまちづくり市民提案事業」を募集します

総務課 防災管理室（内線 252）

対象団体 町内会、自主防災組織など

▷災害に強いまちづくりを目的として新たに取り組む事業
▷既に取り組んでいる活動を拡充して実施する事業

補助金額 事業にかかった経費（上限 20 万円）

総務課防災管理室に設置、または市ホームページに掲載する応募の手引きをよくご覧になり、必要書類をご提出ください。

※詳しくは、お問い合わせください。

応募・問い合わせ先 総務課 防災管理室（内線 252）

全国瞬時警報システム（Jアラート）試験放送を行います

総務課 防災管理室（内線 252）

Jアラートは、テロや災害など緊急事態の情報を人工衛星を経由して瞬時に伝える警報システムです。三沢市では、Jアラートによる警報を受信した場合、市内全域に設置した防災行政無線放送機でお伝えします。

テロや災害はいつ起こるかわかりません。そこで、これから起り得る緊急事態に備え、Jアラートの全国一斉伝達訓練に合わせた試験放送を行います。当日は、各地域の屋外スピーカーから「これは、試験放送です」などの音声が放送されます。

日 時 9月 11 日（水）

① 11:00 頃 ② 11:30 頃

場 所 市内全域



広告



防災訓練を実施します

地震と大津波、土砂災害を想定し、緊急地震速報のサイレンを合図に、住民参加の避難、避難所開設・運用などの訓練を実施します。防災行政無線の放送やエアメールの配信、航空機の訓練飛行が行われますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、各町内会でも、地域ごとに自主防災訓練が行われる予定です。積極的にご参加ください。

日 時 10月 6 日（日）9:30～

主会場 市役所、中央公園

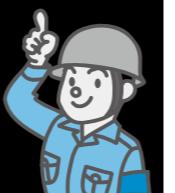
▷沿岸南部地域を対象とした津波避難訓練
▷古間木地区を対象とした土砂災害避難訓練

副会場 堀口中学校、古間木小学校

▷避難所運営訓練

問い合わせ先 総務課 防災管理室（内線 252）

自主防災組織を作りましょう



地域に住む人々が「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚と連帯感を持って自主的に結成する自主防災組織は、身近な人々が互いに助け合い、人命救助や初期消火などの防災活動を行うことで、**被害の軽減に大きな役割を果たします**。

国や地方自治体でも自主防災組織の必要性が叫ばれ、三沢市でも各地域で関心が高まっていますが、その組織率は約 44% とまだ高いものではありません。町内会や地域で話し合い、自主防災組織結成を目指しましょう。

問い合わせ先 総務課 防災管理室（内線 252）

広告

敬老会を開催します

介護福祉課 高齢福祉係（☎ 51-8773）

日 時 9月 21 日（土）10:30～（受付 9:30～）

場 所 公会堂

対象者 6月 15 日以前から三沢市に在住する 70 歳以上（昭和 18 年 9 月 16 日までに出生）の方

※はがきと引き換えに記念品（弁当）をお渡します。
(引き換えは**当日の 14:00**までです)

※介護保険施設に入所されている方には、施設を通して別の記念品をお渡します。

お手伝いしてくださるボランティアを募集します

募集期間 9月 9 日（月）まで

応募・問い合わせ先

介護福祉課 高齢福祉係（☎ 51-8773）

敬老会第 50 回記念講演

「笑って健康・笑って長寿」



日 時 9月 21 日（土）11:30～

場 所 公会堂 大ホール

入場料 無料

講 師 濑川さと氏

PROFILE

上北郡七戸町出身。現在は十和田市在住。高校時代のバンド活動を縁に芸能活動を開始。以来各種イベントやステージ、テレビ・ラジオのリポーターやパーソナリティ、講演活動など多分野で活躍。過去の出演番組に「トークなまるが勝ち！」「青森の快適住宅」など

「認知症予防と笑いの効用」 介護予防講演会を開催します

介護福祉課 包括支援係（☎ 51-8773）

日 時 10月 1 日（火）13:30～16:00

場 所 公会堂 大ホール

内 容 アトラクション

「生きがいづくり教室活動発表会」

講演「認知症予防と笑いの効用」

講師 NPO 法人健康笑い塾主宰

日本笑い学会理事 中井 宏次氏



入場料 無料

問い合わせ先 介護福祉課（☎ 51-8773）

三沢もの忘れフォーラム 2013

介護福祉課 包括支援係（☎ 51-8773）

認知症になつても安心して暮らせるまちづくりのために

日 時 9月 14 日（土）14:00～16:00

会 場 公会堂 小ホール

内 容 講演「あなたのもの忘れは大丈夫ですか？」

～認知症を正しく理解しましょう～

座長 三沢地区医師会副会長 鈴木吾朗氏

講師 認知症疾患医療センター センター長 高松幸生氏

-質問にお答えして-

司会 三沢地区医師会副会長 鈴木吾朗氏

パネラー

高松病院診療部長 高松幸生氏

市立三沢病院地域連携室 看護師長 水戸部須磨子氏

上十三薬剤師会会長 伊藤博次氏 他

入場料 無料

問い合わせ先 エーザイ(株)青森コミュニケーション

オフィス（☎ 017-777-7545）

ジェネリック医薬品 利用差額通知のお知らせ

国保年金課 高齢者医療係（内線 240）

後期高齢者医療被保険者の皆さまへ

10月と2月の年2回、お薬をジェネリック医薬品に切り替えることで薬代が一定額以上安くなると見込まれる被保険者の方に、「ジェネリック医薬品利用差額通知」を、青森県後期高齢者医療広域連合から送付します。ジェネリック医薬品をご利用の際の参考にしてください。

▷ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、新薬（先発医薬品）と同等の効能・効果を持ち、品質再評価を済ませた、安全性も十分な医薬品です。

▷ジェネリック医薬品を利用するには、「ジェネリック医薬品希望カード」を医療機関や薬局に提示してご相談ください。

▷ジェネリック医薬品希望カードは、後期高齢者医療制度の被保険者となったときに、保険証と一緒に送付します。カードを紛失・破損したときは、国保年金課窓口で再交付を受けられます。

問い合わせ先

青森県後期高齢者医療広域連合（☎ 017-721-3821）

「これから的地方自治の潮流」 地方自治講演会を開催します

行政経営課（内線 229）

日 時 9月 27日（金）14:00～16:00
 場 所 総合社会福祉センター 2階研修室
 演 題 「これから的地方自治の潮流」
 講 師 東京大学名誉教授 大森彌氏
 参加料 無料
 ※事前に電話でお申し込みください。



申し込み・問い合わせ先 行政経営課（内線 229）

「子育てについて考えよう！」 子育て相談「父母の集い」

学校教育課（内線 570）

人とうまく付き合えない子どもや、自分の考えをうまく伝えられない子どもたちの支援について考えるセミナーを開催します。

日 時 10月 5日（土）9:40～12:00
 場 所 国際交流教育センター 2階研修室
 対 象 保護者、教育相談関係者
 講 師 青森県立七戸養護学校
 教諭 千葉新一先生
 定 員 50人（先着順）
 参 加 料 無料
 申込締切 9月 20日（金）



申し込み・問い合わせ先

三沢市教育委員会事務局学校教育課（内線 570）
上北地方教育相談連絡協議会（☎ 24-2400）

木造住宅の耐震化・補助制度 に関するセミナーを開催します

建築住宅課（内線 261）

青森県内の木造住宅の耐震化を推進するために、「青森県木造住宅耐震化マニュアル」をテキストとして、木造住宅の耐震化と補助制度に関するセミナーを開催します。ご自宅の安全・安心のため、積極的に受講されるようお願いします。

日 時 9月 25日（水）13:30～15:00（開場 13:15）
 場 所 公会堂 3階第8集会室
 定 員 30人（先着順）
 参加料 無料



新耐震基準以前の木造住宅には
耐震診断が必要です

東北地方各地に大きな被害をもたらした、東日本大震災から2年半が過ぎました。この震災では約40万戸もの建物の全壊・半壊が確認されており、近い将来の発生が危惧されている南海トラフ巨大地震や首都直下地震では、さらに膨大な被害が予想されています。

平成7年に発生した阪神・淡路大震災で倒壊した建築物の多くが昭和56年6月に制定された新耐震基準以前のものでした。人々の生命・健康・財産を守るために、新耐震基準以前に建てられた木造住宅について、耐震診断と耐震改修を行うことが重要です。

申し込み・問い合わせ先 建築住宅課（内線 261）

広告

住宅・土地統計調査を行います！

行政経営課 調査統計係（内線 222）

総務省統計局からの委託により、10月中旬にかけて、一部の世帯を対象に住宅・土地統計調査を実施します。

この調査は、住生活に関するもっとも基本的で重要な調査で、全国約350万世帯の方々を対象とした大規模な調査です。

統計調査員が伺った際には、調査票への記入またはインターネットでの回答のご協力をお願いします。

ひとつひとつの住まいの今が、
確かな未来を描きます。



●住まいから 描く日本の 未来地図
平成 25 年 10月1日(火)
**住 宅・土 地
統 計 調 査**

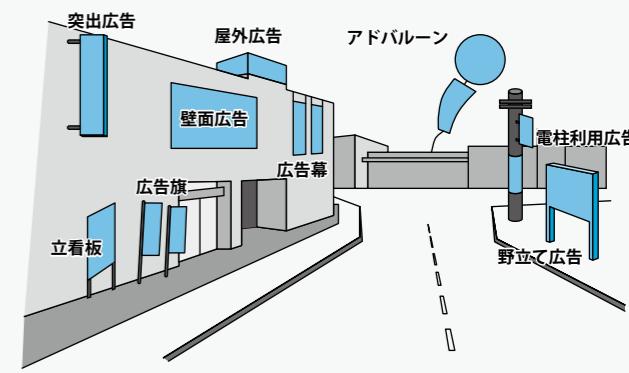
総務省統計局 都道府県・市区町村
からのお知らせです

屋外広告物の申請をしていますか？

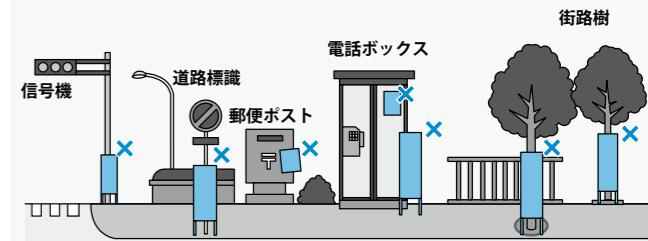
都市整備課 管理係（内線 273）

「屋外広告物」とは、沿道から見ることのできる広告物のことです。

店舗や事務所などの敷地内にある小型の看板以外の多くは許可が必要です



道路標識、ガードレール、街路樹などは広告物の表示が禁止されています



詳しい内容や申請方法などについては、市ホームページをご覧になるか、お問い合わせください。

問い合わせ先 都市整備課 管理係（内線 273）

広告

広告

2013年		7(土)	8(日)
9月	番組表		
月7日～			
月4日			
放送されるマック		6.00 釣りビジョン	6.00 釣りビジョン
ライン市内の出来		7.00 Nほか サイエンス	7.00 週刊/サイエンス
マック放送で確認可		8.00 Nほか ローカルTV	8.00 週刊/ローカルTV
よく番組が変更さ		9.00 Nほか TV5	9.00 手話-TV5
があります。		10.00 ★湯けむり紀行	10.00 トライアスロン
回放送		11.00 ★トライアスロン	11.00 共にみた夢
マックニュースライン		12.00 Nほか サイエンス	12.00 週刊/サイエンス
予報		1.00 Nほか 求人	1.00 人話/求人
		2.00 トライアスロン	2.00 人話/湯けむり紀行
		3.00 モールオブTV	3.00 モールオブTV
		4.00 ローカルTVアワー	4.00 ローカルTVアワー
		4.30 求人情報	4.30 求人情報
		5.00 Nほか サイエンス	5.00 週刊/サイエンス
		6.00 共にみた夢	6.00 トライアスロン
		7.00 週刊マック	7.00 週刊マック
		7.30 情報宅配便	7.30 情報宅配便
		8.00 釣りビジョン	8.00 共にみた夢
		9.00 週刊マック	9.00 週刊マック
		9.30 サイエンス	9.30 サイエンス
		10.00 トライアスロン	10.00 釣りビジョン
		11.00 手話ニュース	11.00 手話ニュース
		11.20 Nほか 求人	11.30 Nほか 求人

9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)
6.00 週刊/情報誌	6.00 N ほか 情報誌	6.00 釣りビジョン	6.00 釣りビジョン			
7.00 週刊/サイエンス	7.00 N ほか サイエンス	7.00 N ほか サイエンス	7.00 週刊/サイエンス			
8.00 週刊/ローカルTV	8.00 N ほか ローカルTV	8.00 N ほか ローカルTV	8.00 週刊/ローカルTV			
9.00 手話/TV5	9.00 N ほか TV5	9.00 N ほか TV5	9.00 手話/TV5			
10.00 トライアスロン	10.00 湯けむり紀行	10.00 トライアスロン	10.00 MCTVお知らせ	10.00 MCTVお知らせ	10.00 ★鉄談湖花火大会	10.00 湯けむり紀行
11.00 湯けむり紀行	11.00 共にみた夢	11.00 共にみた夢	11.00 つめこみマックス	11.00 つめこみマックス	12.00 N ほか サイエンス	11.00 つめこみマックス
12.00 週刊/サイエンス	12.00 N ほか サイエンス	12.00 N ほか サイエンス	12.00 トライアスロン	12.00 トライアスロン	1.00 N ほか サイエンス	12.00 週刊/サイエンス
1.00 手話/求人誌	1.00 N ほか 求人誌	2.00 ★夢をカタチに	1.00 手話/求人誌			
2.00 共にみた夢	2.00 トライアスロン	2.00 湯けむり紀行	2.00 つめこみ/お知らせ	2.00 つめこみ/お知らせ	2.30 ★岳鉄を見つめて	2.00 共にみた夢
3.00 モールオブTV	3.00 モールオブTV	3.00 モールオブTV				
4.00 ローカルTVアワー	4.00 ローカルTVアワー	4.00 ローカルTVアワー				
4.30 求人情報誌	5.00 N ほか サイエンス	4.30 求人情報誌				
5.00 週刊/サイエンス	5.00 N ほか サイエンス	6.00 トライアスロン	5.00 週刊/サイエンス			
6.00 トライアスロン	6.00 湯けむり紀行	6.00 トライアスロン	6.00 つめこみ/お知らせ	6.00 つめこみ/お知らせ	7.00 週刊マック	6.00 トライアスロン
7.00 N マックニースライドほか	7.30 情報誌配便	7.00 N マックニースライドほか				
7.30 情報宅配便	8.00 釣りビジョン	7.30 情報宅配便				
8.00 湯けむり紀行	8.00 釣りビジョン	8.00 共にみた夢	8.00 つめこみ/お知らせ	8.00 つめこみ/お知らせ	9.00 週刊マック	8.00 情報宅配便
9.00 N ほか サイエンス	9.30 サイエンス	9.00 N ほか サイエンス				
10.00 釣りビジョン	10.00 トライアスロン	10.00 釣りビジョン	10.00 つめこみ/お知らせ	10.00 つめこみ/お知らせ	10.00 夢をカタチに/岳鉄	10.00 釣りビジョン
11.00 N ほか 求人誌	11.00 手話/求人誌	11.00 N ほか 求人誌				

16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)
6.00 週刊/情報誌	6.00 Nほか 情報誌	6.00 Nほか 情報誌	6.00 Nほか 情報誌	6.00 Nほか 情報誌	6.00 約りビジョン	6.00 約りビジョン
7.00 週刊/サイエンス	7.00 Nほか サイエンス	7.00 Nほか サイエンス	7.00 Nほか サイエンス	7.00 Nほか サイエンス	7.00 Nほか サイエンス	7.00 週刊/サイエンス
8.00 週刊/ローカルTV	8.00 Nほか ローカルTV	8.00 Nほか ローカルTV	8.00 Nほか ローカルTV	8.00 Nほか ローカルTV	8.00 Nほか ローカルTV	8.00 週刊/ローカルTV
9.00 手話/TV5	9.00 Nほか TV5	9.00 Nほか TV5	9.00 Nほか TV5	9.00 Nほか TV5	9.00 Nほか TV5	9.00 手話/TV5
10.00 講談/湖花火大会	10.00 トライアスロン	10.00 講談/湖花火大会	10.00 MCTVお知らせ	10.00 MCTVお知らせ	10.00 夢をカタチに/岳鉄	10.00 夢をカタチに/岳鉄
12.00 週刊/サイエンス	11.00 共にみた夢	12.00 Nほか サイエンス	10.30 つめこみ/マックス	10.30 つめこみ/マックス	11.00 ★トキメキ応援隊	11.00 夢をカタチに/岳鉄
1.00 手話/求人火	12.00 Nほか サイエンス	1.00 Nほか サイエンス	11.00 夢をカタチに/岳鉄	11.00 夢をカタチに/岳鉄	12.00 Nほか サイエンス	12.00 週刊/サイエンス
2.00 共にみた夢	1.00 Nほか 求人火	2.00 トライアスロン	12.00 Nほか サイエンス	12.00 Nほか サイエンス	1.00 Nほか 求人火	1.00 Nほか 求人火
3.00 モールオブTV	2.00 夢をカタチに/岳鉄	3.00 モールオブTV	1.00 Nほか 求人火	1.00 Nほか 求人火	2.00 トキメキ応援隊	2.00 夢をカタチに/岳鉄
4.00 ローカルTVアワー	3.00 モールオブTV	4.00 ローカルTVアワー	2.00 つめこみ/お知らせ	2.00 つめこみ/お知らせ	3.00 モールオブTV	3.00 モールオブTV
4.30 求人情報	4.00 ローカルTVアワー	4.30 求人情報	3.00 モールオブTV	3.00 モールオブTV	4.00 ローカルTVアワー	4.00 ローカルTVアワー
5.00 週刊/サイエンス	5.40 求人情報	5.00 Nほか サイエンス	4.00 ローカルTVアワー	4.00 ローカルTVアワー	4.30 求人情報	4.30 求人情報
6.00 夢をカタチに	5.00 Nほか サイエンス	6.00 夢をカタチに	4.30 求人情報	4.30 求人情報	5.00 Nほか サイエンス	5.00 Nほか サイエンス
6.30 岳鉄を見つめて	6.00 トライアスロン	6.30 岳鉄を見つめて	5.00 Nほか サイエンス	5.00 Nほか サイエンス	6.00 夢をカタチに/岳鉄	6.00 夢をカタチに/岳鉄
7.00 N【マックニースライド】ほか	7.00 N【マックニースライド】ほか	7.00 N【マックニースライド】ほか	6.00 つめこみ/お知らせ	6.00 つめこみ/お知らせ	7.00 週刊マックス	7.30 情報宅配便
7.30 情報宅配便	7.30 情報宅配便	7.30 情報宅配便	7.00 N【マックニースライド】ほか	7.00 N【マックニースライド】ほか	7.30 情報宅配便	7.30 情報宅配便
8.00 講議会放送	8.00 講議会放送	8.00 講議会放送	7.30 情報宅配便	7.30 情報宅配便	8.00 週刊マックス	8.00 約りビジョン
9.00 Nほか サイエンス	9.00 Nほか サイエンス	9.00 Nほか サイエンス	8.00 講議会放送	8.00 講議会放送	9.00 週刊マックス	9.00 週刊マックス
10.00 議論会放送	10.00 議論会放送	10.00 議論会放送	9.00 Nほか サイエンス	9.00 Nほか サイエンス	9.30 Nほか サイエンス	9.30 サイエンス
11.00 Nほか 求人火	11.00 Nほか 求人火	11.00 Nほか 求人火	10.00 議論会放送	10.00 議論会放送	10.00 トキメキ応援隊	10.00 約りビジョン
			11.00 Nほか 求人火	11.00 Nほか 求人火	11.00 手話ニユース	11.00 手話ニユース
					11.30 求人情報	11.30 求人情報

30(月)	10/1(火)	2(水)	3(木)	4(金)
6.00 週刊／情報戻	6.00 Nほか情報 戻	6.00 Nほか情報 戻	6.00 Nほか情報 戻	6.00 Nほか情報 戻
7.00 週刊／サイエンス	7.00 Nほかサイエンス	7.00 Nほかサイエンス	7.00 Nほかサイエンス	7.00 Nほかサイエンス
8.00 週刊／ローカルTV	8.00 NほかローカルTV	8.00 NほかローカルTV	8.00 NほかローカルTV	8.00 NほかローカルTV
9.00 手話／TV5	9.00 NほかTV5	9.00 NほかTV5	9.00 NほかTV5	9.00 NほかTV5
10.00 三沢基地航空祭	10.00 トキメキ応援隊	10.00 三沢基地航空祭	10.00 MCTVお知らせ	10.00 MCTVお知らせ
11.00 トキメキ応援隊	11.00 夢をカタチに／岳鉄	11.00 トキメキ応援隊	11.30 つめこみマックス	11.30 つめこみマックス
12.00 週刊／サイエンス	12.00 Nほかサイエンス	12.00 Nほかサイエンス	11.00 三沢基地航空祭	11.00 三沢基地航空祭
1.00 手話／求人 戻	1.00 Nほか求人 戻	1.00 Nほか求人 戻	12.00 Nほかサイエンス	12.00 Nほかサイエンス
2.00 夢をカタチに／岳鉄	2.00 三沢基地航空祭	2.00 トキメキ応援隊	1.00 Nほか求人 戻	1.00 Nほか求人 戻
3.00 モールオブTV	3.00 モールオブTV	3.00 モールオブTV	2.00 つめこみ／お知らせ	2.00 つめこみ／お知らせ
4.00 ローカルTVアワー	4.00 ローカルTVアワー	4.00 ローカルTVアワー	3.00 モールオブTV	3.00 モールオブTV
4.30 求人情報 戻	4.30 求人情報 戻	4.30 求人情報 戻	4.00 ローカルTVアワー	4.00 ローカルTVアワー
5.00 週刊／サイエンス	5.00 Nほかサイエンス	5.00 Nほかサイエンス	4.30 求人情報 戻	4.30 求人情報 戻
6.00 三沢基地航空祭	6.00 トキメキ応援隊	6.00 三沢基地航空祭	5.00 Nほかサイエンス	5.00 Nほかサイエンス
7.00 Nマックニュースラインほか	7.00 Nマックニュースラインほか	7.00 Nマックニュースラインほか	6.00 つめこみ／お知らせ	6.00 つめこみ／お知らせ
7.30 情報宅配便 戻	7.30 情報宅配便 戻	7.30 情報宅配便 戻	7.00 Nマックニュースラインほか	7.00 Nマックニュースラインほか
8.00 トキメキ応援隊	8.00 釣りビジョン	8.00 夢をカタチに／岳鉄	7.30 情報宅配便 戻	7.30 情報宅配便 戻
9.00 Nほかサイエンス	9.00 Nほかサイエンス	9.00 Nほかサイエンス	8.00 つめこみ／お知らせ	8.00 つめこみ／お知らせ
10.00 釣りビジョン	10.00 三沢基地航空祭	10.00 釣りビジョン	9.00 Nほかサイエンス	9.00 Nほかサイエンス
11.00 Nほか求人 戻	11.00 Nほか求人 戻	10.00 つめこみ／お知らせ	10.00 Nほかサイエンス	10.00 つめこみ／お知らせ
		1.00 Nほか求人 戻	11.00 Nほか求人 戻	11.00 Nほか求人 戻

A black and white promotional poster for a radio program. At the top, it says 'ラジオ 水曜日' (Radio Wednesday). Below that is a large box containing the date '9月30日(月)~'. To the right of the date is a large graphic of the Japanese character '医療' (Medical Treatment). Below the date, the text reads 'ラジオ 医療' and '医療' again. The main title 'ラジオ 医療' is written vertically on the left side. Below the title, there is a large box containing the text '今回のテーマは、胃がん' (The theme this time is stomach cancer). At the bottom, there is more text: '三沢市立三沢病院の専門医が' (Specialists from the Misawa City立三沢 Hospital), '治療法や予防法を' (Treatment methods and prevention methods), and 'みなさんにわかり易くお伝えします' (Will be explained easily to everyone). At the very bottom, it says '放送は、「マックニュースライン」の後です。詳しく述べは、EPG(電子番組表)をご覧下さい' (Broadcasted after 'Mac News Line'. For detailed information, please refer to the EPG (Electronic Program Guide)).



2013三沢基地航空祭

三沢市議会 第三回定例会

三沢の旬な生活情報を
お届けします♪

毎週木曜・金曜
放送です!

とれたて情報

つめこみマックス

A promotional image for a children's variety show. The title '子どもバラエティ' is at the top, with 'トキメキ応援団' written vertically in the center. Below the title is a large five-pointed star containing the text '今回のテーマは' and 'これがほくの! ハマリごと!! わたしの! ハマリごと!!'. A speech bubble from a child character says '紹介します!' (I will introduce!). At the bottom left, a child is shown reading a book. On the right, there is a box for 'ラブリーキッズ運動会' (Love Kids Sports Meeting) with the text 'を紹介します!' (I will introduce!).

A black and white photograph showing several children sitting at a long table, focused on drawing on large sheets of paper. The scene is set in a classroom or workshop environment.

問い合わせ先:三沢市ケーブルテレビジョン ☎ 51-1255(国際交流教育センター内)

地域の活性化目指し新たな取り組み 日米交流 となみ盆踊り大会 8月15日

市北部地域の活性化を目指す北三沢地区コミュニティ活性化協議会と町内会、地域団体・企業が協力し、12町内から集まる大規模な盆踊り大会を道の駅みさわ斗南藩記念観光村で開催。さらに、米軍三沢基地内のフラダンスチームを招待し、日米交流を図りました。この日のために、実行委員会を立ち上げ、準備してきた北部地域の人々。特設のやぐらを組み、提灯や半纏、カラオケや無料バーベキューで地域内外から訪れる人を歓迎。最後には、やぐらを囲む100人以上の輪に、半纏を着たフラダンスチームも加わって盆踊り。三沢音頭を地元のお母さんやお父さんに教えてもらしながら、楽しそうに踊りの交流を果たしていました。



▲やぐらを囲み、一緒に盆踊りを楽しむ
北部地域の人々とフラダンスチーム

没後30年を偲び、その素顔に迫る 寺山修司記念館フェスティバル 2013夏 8月3・4日

今年で没後30年となる寺山修司を偲び、多くの人々が寺山修司記念館を訪問しました。3日には『寺山修司の素顔』と題し、寺山修司から影響を受けたフォークシンガー・三上寛氏の弾き語りに、舞踏家・福士正一氏が奇抜なメイクと独創的な踊りでコラボレーション。寺山修司記念館の佐々木館長も詩の朗読で参加し、それぞれに寺山修司の世界を伝えました。また、続いて開始されたトークショーでは、「寺山修司の素顔を撮った唯一のカメラマン」と言われるハービー・山口氏と九條今日子氏、三上寛氏、佐々木館長の四者がステージ上で対談。来場者は、寺山修司と直接親交を深めた人々が語る貴重なエピソードに、じっと耳を傾けていました。



▲寺山修司から鮮烈な刺激を受けた思い出を語ったハービー・山口氏（左から2人）

平和と繁栄築いた御靈に祈り捧げる 三沢市戦没者追悼式 8月17日

『鎮魂碑』『殉國之靈碑』などの慰靈碑が建立され、日清・日露戦争と太平洋戦争のそれぞれで尊い命を落とした273人の御靈を祀る招和台公園に、約80人の遺族をはじめ、関係者らが参列。権現舞や駒踊りといった郷土芸能が奉納され、国歌を斉唱した後、戦没者の冥福を祈り会場全体で黙とうを捧げました。種市長は、戦没者と遺族に敬意を込め、「現在の平和と繁栄が、皆さまのご苦労の上に築かれていることを決して忘れてはなりません」と式辞。市議会や県遺族連合会、市遺族会の代表からも追とうの言葉が捧げられ、慰靈碑前に設置された祭壇に、参列者一人ひとりが献花。最後に、三川目小学校児童が鎮魂の『海鳴り太鼓』を演舞しました。



▲戦没者に想いはせ、慰靈碑前に設置された祭壇に献花する遺族たち

農畜産業の魅力を集めた農場の祭り ファームフェスタ in 斗南 8月4日

農畜産業に触れることが少ない人々に、食と農の大切さを伝え、理解を深めてもらおうと、道の駅みさわ斗南藩記念観光村で、農家の人々が野菜収穫や搾乳など体験を提供。牛乳の試飲やバーベキューなども催し、農畜産物の魅力を伝えました。また、酪農家と42頭の乳牛が集まり、育成技術を競い高め合う畜産共進会も併催。子どもを連れた多くの人々が会場を訪れ、農場の祭りを楽しみました。その他にも会場では、根井神楽保存会による神楽舞やフラダンス、歌謡ショーなどが催され、来場者はバーベキューを食べながら堪能。さらに、斗南藩にちなみみ福島県会津若松市からやってきた会津藩鉄砲隊が火縄銃や大筒を使った砲術を披露しました。



▲ボランティア団体「やるべく会」が育てた野菜で収穫を初体験

出来事通信

できごと
つうしん

「食べ物の、命の大切さを知ってほしい」 ちゃぐりんフェスタ

8月3日

農業や農協、食べ物、そして命の大切さを知つてほしいと、おいらせ農協が毎年開催しているイベントに、約80人の親子が参加。地元特産品の魅力をクイズや料理・収穫体験などから学びました。



▲まず初めに、おいらせ農協で、組合スタッフが三沢の特産品など各種野菜に関するクイズを出題。改めて知る野菜の姿やその魅力

▲親子で力を合わせ、地元素材で料理体験



▲参加者は、感心するように頷いたり、新たな発見に驚きの表情を見せたりしていました。その後は、中村クッキング教室の中村さんを講師に、特産野菜を使った料理を体験。さらに、谷地頭で農業を営む織笠さんの畑に会場を移して、ブルーベリーとじゃがいもの収穫を体験しました。摘みたてのブルーベリーの甘さに思わず笑顔がこぼれる参加者たちは、汗まみれ土まみれになりながら、ジャガイモ掘りを楽しむと、収穫したブルーベリーと袋一杯のじゃがいもを満足そうに持ち帰っていました。

新島八重から改めて斗南の魅力を知る 「新島八重と斗南」オープニングセレモニー 8月1日

夢と希望に駆けてきた日々の想い語る 東日本大震災復興イベント「井上康生講演会」 7月28日

現在、NHKで放送中の大河ドラマ『八重の桜』。劇中に登場する会津藩の人々は、その多くが後に斗南藩士として青森県に移り住んだ歴史があり、先人記念館には廣澤安任の資料など、縁ある品が数多く収蔵されています。それらの資料や旧会津藩関係者たちから協力を得てそろえた展示品で、改めて斗南藩の歴史や魅力を知つてもらおうと企画されたのがこの特別企画展。これまでに同施設を訪れた人も新たな発見ができるよう、盛り沢山な内容となっています。

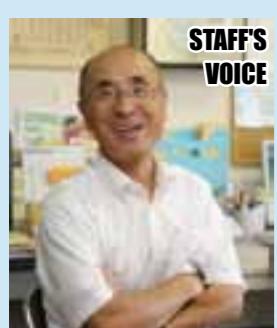
この日、特別企画展オープンの前に行われたセレモニーには、関係者など約50人が出席。主催者・来賓によるテープカットが行われ、出席者や来場者によって祝福されました。



▲特別企画展「新島八重と斗南」は、9月29日まで開催される予定です



▲氏が感謝とともに伝えた想いに、客席からは大きな拍手が送られていました



航空自衛隊OB会 事務局長
石毛 次夫さん

多くの人の目に付く場所ですから、花を植えたり掃除したりすることで見る人にとっては潤いとなることでしょう。この事業に参画することは、大変なところもありますけど、やりがいも達成感もあります。

これから先も維持管理していくためには、連絡を密にし、どうやってこのノウハウを引き継いでいくかが重要です。



さつき・あじさいロード整備事業

航空自衛隊OB会では、ジョギングやサイクリングを楽しむ人たちに楽しんでもらおうと、昨年から県道天ヶ森・三沢線沿いのサイクリングロードにさつきやあじさいの苗木を植え始め、今年度も320本を植樹。合わせて500本以上の苗木を植えました。

その後も広い範囲に植えられた苗木を維持管理するため、NPO法人マン・パワーや三沢基地准曹会の人々と協力し、草刈りや空き缶などごみ拾いを定期的に継続。7月6日

航空自衛隊OB会

には、墓地公園から南へ向かった約1.2kmの区間で、刈り取った草の除去や肥料を与える作業を行いました。

メンバーの平均年齢が高くなっていることや、仕事の転属によってメンバーの入れ替わりが多いため、これから先も同じ思いで継続していくためにどうしたらよいかが現在の大きな課題。それでも、この「さつき・あじさいロード」が美しい花で埋め尽くされることを目標に日々奮闘しています。

三沢市で初！ 患者等搬送事業者を消防本部が認定

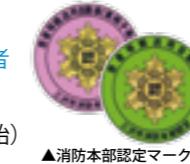
三沢市消防本部は、市内で介護タクシー等事業を行う2事業者を三沢市初の『患者等搬送事業者』として認定し、8月20日、消防本部で認定証を交付しました。

県内で認定されたのは、これで6事業者・7台となり、うち2台は県内初の車いす専用対応車。各事業者に連絡することで、消防機関から講習を受けた乗務員が、応急手当資器材を備えた車両を使用し、有料で搬送します。市消防本部では「安心・安全な搬送と救急自動車の適正利用のため、状況に応じて積極的に利用してほしい」と話していました。

市消防本部に今回認定された患者等搬送事業者

介護・福祉タクシー ハッピー

(有)のぞみケアセンター（※9月中旬に事業開始）



▲消防本部認定マーク



救急自動車の適正利用に期待高まる患者等搬送事業

一刻を争う生命の危機に瀕した人々を、病院へ送り届ける救急自動車。しかし、平成24年における市内での救急自動車の要請件数は1,452件と10年前に比べ約2割も増え、今なお増大。救急自動車の現場到着が遅れることによる、救命率低下が危惧されています。その対応策の一つとして創設されたのがこの事業で、緊急性の低い入退院や通院、転院、社会福

祉施設等への送迎時の移動手段を提供している介護タクシーなど民間の搬送事業者を、一定の条件のもとに消防本部が認定。乗務員基礎講習を受け、応急手当資器材を積載した消防機関認定の搬送事業者として、市民の皆さんに安心して利用していただくとともに、その利用率向上によって救急自動車の適正利用が図られることに期待されています。

協働のまちづくり市民提案事業レポート vol.1

市民団体のまちづくりを支援するため、提案事業に対して補助金を交付する『協働のまちづくり市民提案事業』。これまでに実施された平成25年度事業を紹介します。



小川原湖ロマン会議 議長
坂本 稔さん

『見て・触れて・感じて小川原湖』。小川原湖に似合うカヌーにロマンを感じ、始めた活動は、今年で20年目になります。この事業は、自分たちが楽しくなければ、やっている意味はありません。それがボランティアの原点でもあります。ボランティアを根付かせるには「こんなのがあったら楽しいね」「みんなも参加しよう」という気持ちが大事だと思います。



小川原湖親水体験カヌースクール実施事業

7月15日、「みさわ小川原湖まつり」が行われる小川原湖で、カヌースクールが開催されました。この日は薄曇りで、お日さまは時折顔を出す程度でしたが、カヌーを楽しむには申し分のない天気。10時から15時までの間、1時間ごと各回30人の定員30で行われた体験会に、親子連れなどの来場者が次々と参加し、人気を集めました。

受付を済ませた参加者はライフジャケットを装着し、インストラクターからパドルを使っ

小川原湖ロマン会議

た漕ぎ方のレクチャーを受けます。今回は1～3人乗りの各カヌーが合わせて全部で20艇用意され、沖にはジェットスキーのレスキューも待機。カヌーに乗るのは初めてという参加者も安心して挑戦していました。この日は1日で合計約200人がカヌーを体験。次々と湖面に漕ぎ出でて、小川原湖の、穏やかで美しい景色を楽しみながらカヌーを満喫することができたようです。短い三沢の夏の、楽しい思い出の一つになったのではないでしょうか。

岩手県野田村の災害廃棄物の受け入れを開始しました



市では、東日本大震災で被災した岩手県野田村の震災がれき（災害廃棄物）の受け入れを開始。7月31日、災害廃棄物を積んだ最初の車両が清掃センターに到着し、同施設内の最終処分場に搬入しました。

毎日、野田村から搬送される災害廃棄物の搬送量は1日およそ42～60トン。現地業者によって大きさ50mm以下に選別、放射性セシウム濃度が1kgあたり100ベクレル以下であることを確認されたもので、さらに清掃センター搬入時、市職員が運搬車1台ごとに空間放射線量を測定。安全基準の1時間あたり0.1マイクロシーベルト以下であることを再確認した上で、最終処分場に直接、埋立処分します。

今後は、10月までに合計約1,560トンの災害廃棄物を受け入れ、最終処分場の約1,000m³の区画に一般廃棄物と区分して埋め立てていく予定。最終処分場周辺の空間放射線量は、定期的にモニタリング（測定）しながら監視することです。市民の安全性を最優先にしながら、被災地復興のための新たな一步を踏み出しました。

掃センタ付近住民を対象として5月に、市民全体を対象として6月にそれぞれ説明会を実施。環境省と青森・岩手両県担当者とともに廃棄物処理の現状や受け入れ方法などを説明して、理解や意見を求めました。さらに調整を進めた市は、7月18日に災害廃棄物受け入れに関する協定を野田村と締結し、受け入れ開始に至ったものです。

お知らせ

ひとりで悩んでいませんか?
青森県では、二ート、ひき
二もり、不登校、発達障害な
子ども・若者総合案内

ど、さまざまな困難を抱えた子どもや若者、その家族へ、悩みに応じた相談窓口や専門機関をご案内しています。

☎0171-777-16123
相談先にお悩みの方は、お
気軽に電話ください。
▼問 同参考課
青森県青少年・男女共

図書館からのお知らせ

蔵書点検のため休館します
期間 9月17日(火)～27日(金)
館長＆ライブラリアントーク
テーマ 芥川賞・直木賞作品
を紹介します！
9月12日(木)13時30分～

ところ 玄関前アプローチ
※悪天候時は3階第1会議室
図書館シネマ（上映会）
タイトル
『山中伸弥 i P S 細胞革命』
と き 9月14日(土)13時()

ところ 3階第1会議室
語り聞かせ（はまなすの会）
とき 9月14日(土)10時～
ところ 3階第1会議室
対象 小学生以下
参加料 全て無料

▼申問 図書館
（☎53-6040）

青森県出身のJICA（ジャイカ）ボランティアが開発途上国で撮影した、現地の暮らしや文化、歴史に触れる写真を展示します。

▼問 (有)加澤商店
期間 9月7日(土)～23日(月)
ところ 三沢駅構内自由通路
観覧料 無料
J-1-C 青森テスク
（☎ 53-19262）

講座・教室

松島空手
体験入門
見学も大歓迎です！

▼問 参加料 無料
（☎090-12608-19012 極真会館三沢道場

歴史民俗資料館野外学習 上北地方の歴史・文化を学ぼう

申込締切 10月3日(木) 17時
定員 親子20人・一般20人
(いずれも先着順)
集合場所 公会堂前
とき 10月5日(土)9時～16時

▼申問 生涯学習課
(内線379)

講演題「からだにも
おいしい食生活を」
第8・9・10集会室
9月28日(土)14時()
ところ公会堂3階

リビング研究所 楽南
催し

参観デー

栽培相談、主要成果の資料展示、場内生産物の販売など。
※赤い西洋なし公開ツアーハン

とこり 青森県産業技術センター
ターリんご研究所県
南果樹部

手弁当まなび講座

木目込人形教室
来年の干支の「午」の人形を作ります。
とき 10月12日(土)・26日(土)
ところ 公会堂
10時～15時

▼申問　受講料　定員　対象

小学生とその保護者
10組（先着順）
4200円（材料費）

公会堂

(☎ 53-8711)

市民ウォークの集い
小川原湖沿いを歩いてみよう
とき 9月28日(土)9時30分～
ところ 市民の森運動公園
△ゆっくりコース 約3・5km
内 容

▽急いでコース 約6km
▽バーベキューの集い

▼申問 市民スボーツ課
(内線372)

身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなどを図書館や学校図書館で調べ、まとめた作品を募集します。

市民無料相談

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| ●法律相談（法テラス青森主催） | 4日（水）・18日（水） |
| 問 法テラス青森（☎ 050-3383-5552） | 10月2日（水） |
| 場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名・受付条件あり | 13時～16時 |
| ●法律相談（社会福祉協議会主催） | 10日（火）・10月8日（火） |
| 問 社会福祉協議会（☎ 52-3270） | 13時～16時 |
| ※要電話予約・先着6名 | |
| ●法律相談（市主催） | 24日（火） |
| 問 広報広聴課（内345） | 13時～16時 |
| 場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名 | |
| ●人権・行政相談 | 9日（月） |
| 問 広報広聴課（内345） | 10時～15時 |
| 場 市民相談室 | |
| ●人権・困り事相談 | 12日（木）・26日（木） |
| 問 人権・困り事相談所（☎ 52-7083） | 9時30分～15時 |
| 場 市民活動ネットワークセンターみさわ（旧ふれあいの館） | |
| ●創業・起業相談（21あおもり産業総合支援センター主催） | |
| 問 産業政策課（内224） | 6日（木）・20日（木） |
| 場 市役所別館2階 図書室 ※要電話予約 | 13時～16時 |
| ●教育相談 | 毎週月～金 |
| 問 場 國際交流教育センター内教育相談室（☎ 53-6060） | 8時15分～16時 |
| ●家庭児童・婦人相談 | 毎週月～金 |
| 問 場 家庭福祉課（内381） | 9時～16時 |
| ●育児・子育て支援相談 | 毎週月～金 |
| 問 場 三沢地域子育て支援センター（☎ 53-1176） | 9時～16時30分 |
| 問 場 びこりんパーク（☎ 53-7772） | 毎週土 |
| 問 場 子育てサロン ミルキールーム（☎ 51-1512） | 9時～11時30分 |
| ●育児・子育て支援相談 | 毎週月～金 |
| 問 場 みさわファミリーサポートセンター（☎ 50-1518） | 9時～16時30分 |
| ●消費者生活相談 | 毎週月～金 |
| 問 県消費生活センター八戸相談室（☎ 0178-27-3381） | 9時～17時 |
| ●警察安全相談 | 随時 |
| 問 三沢警察署総務課（☎ 53-3145 内217） | 電話相談可 |
| ●犯罪被害者支援相談 | 毎週月～金 |
| 問 青森県地方検察庁被害者ホットライン（☎ 017-722-1234） | 9時～16時30分 |
| ●がん・緩和ケア・医療相談 | 毎週月～金 |
| 問 場 三沢市立三沢病院地域医療連携室内（☎ 51-1375） | 9時～16時 |
| ●介護・福祉相談 | 毎週火 |
| 問 場 三沢市立三沢病院地域医療連携室内（☎ 51-1375） | 10時～15時 |

LECTURE 語学講座のご案内

講座・講師	開設日時	講師から一言	費用・定員
英会話講座 クリスティン・ハーバー 講師	毎週火曜日 10:00 ~ 12:00 9/17,24,10/1,8,15,22,29,11/5	実際に使える英語を学びます。初心者も歓迎します。	受講料 2,400円 定員 20人
英語初級講座 田中 多恵子 講師	毎週火曜日 18:00 ~ 20:00 9/17,24,10/1,8,15,22,29,11/5,12	中学校2年程度の英会話、英文法、英語の歌などをバラエティ豊かに学びます。	受講料 2,700円 定員 20人
英会話中級講座 エリカ・ベッテリオン 講師	毎週火曜日 18:00 ~ 20:00 9/17,24,10/1,8,15,22,29,11/5,12	もう一步進んだコミュニケーションを望んでいる人が対象です。	受講料 2,700円 定員 20人
TOEIC講座 高屋敷 奈央 講師	毎週火曜日 13:30 ~ 15:30 9/17,24,10/1,15,22,29,11/5	受験未経験でもOK!どのレベルにも対応できるコツをわかりやすく伝えます。	受講料 2,100円 定員 20人
サバイバルジャパンーズ講座 アトキンソン みゆき 講師	毎週金曜日 10:00 ~ 12:00 9/13,20,27,10/4,11,18,25,11/1,8,15	日本文化などを紹介しながら表現を基礎から学びます。買い物と料理の講座あり。※託児あります。(要予約)	受講料 3,000円 定員 20人(外国人対象)
中級日本語講座 アトキンソン みゆき 講師	毎週火曜日 18:00 ~ 20:00 9/17,24,10/1,8,15,22,29	市内在住の外国人が対象の講座です。日常基礎会話(中級)を中心に学びます。	受講料 2,100円 定員 20人(外国人対象)
韓国料理とハングル講座(初級) ヘソン・ラフィー 講師	毎週金曜日 10:00 ~ 12:00 9/20,27,10/4,11,18,25	韓国のドラマや歌から楽しく会話を学びます。料理講座あり。初心者も大歓迎!	受講料 1,800円 定員 20人
ワイン料理とドイツ語講座(初級) 亀山 瑞香 講師	毎週木曜日 18:30 ~ 20:30 9/26,10/3,10,17,24,31,11/7,14	ドイツ語が初めての方も気軽に楽しめるレッスン。ワイン料理講座もあります。	受講料 2,400円 定員 20人

申込方法 電話またはFAXで希望する講座名、氏名(ふりがな含む)、電話番号をご連絡ください。

申込期間 9月4日(水)~12日(木)の土・日を除く 9:00~16:00

※定員に達し次第、申込受付を終了します。

※受講は一人一講座が原則です。定員に空きがある場合に限り、先着順に複数講座を受講可能とします。

※受講料は、講座初日に現金でお支払いください。

受講者の事情により講座を休んだり、途中で受講をやめた場合は返金できません。

※諸事情により、日程や講師が変更になる場合があります。

★申し込み・問い合わせ先

みさわ国際交流協会(☎ 080-6022-1349) FAX 51-1211



LECTURE 初心者でも作れるホームページ作成講座

初めての方でも大丈夫! ホームページ(HP)立ち上げから画像の挿入、文章・デザインの変更など、お店・個人のHPなど色々なパターンのHPを作ることができます。

事例を学びながら、集客や売上、閲覧数をアップさせるHPを作ってみよう!

日 時 9月12日(木)、17日(火)、24日(火)
13:00~17:00(12日は15:00まで)

場 所 PCL(ピーシーエル)三沢校
(おいらせ町青葉2-50-323)

定 員 20人(先着順)

受 講 料 無料

申込締切 9月10日(火)

★申し込み・問い合わせ先
三沢市雇用創造推進協議会
(産業政策課内)(内線537)



EVENT 每年9月9日は「救急の日」です

救急フェア

救急車を展示し、心肺蘇生法やAED使用法などの体験ができます。

日 時 9月13日(金)・14日(土)
15:00~17:00

場 所 ユニバース三沢堀口店前

参 加 料 無料

★問い合わせ先 消防署救急係
(☎ 54-4212 内線218)



INVITE 第7回「県民グランプリ」募集

心身ともに健康で明るく生き生きと暮らす健康家族と住みよい地域社会を目指し、人生の目標となる身近な方を発掘、表彰しています。

広く県民に勇気や感動を与え、模範になると自他共に認め推薦が得られる方、またはご家族を募集します。

募集対象

種類	内容
県民社会奉仕グランプリ	おおむね20年以上、地域社会のために奉仕活動等を地道に実践している方
県民活き活き老人グランプリ	おおむね20年以上、スポーツ、芸術、趣味等を行ってきている85歳以上の元気な方
県民徳行学生グランプリ	親を手助けまたは親代わりとなって家族を支えながら学業に励んでいる学生(高校・大学)
県民大家族グランプリ	親と何世代にもわたり、生活を共にしてきている明るく元気で活力のある大家族
県民子宝家族グランプリ	子宝に恵まれ、明るく元気で活力のある家庭を築いている家族(母親45歳未満)

応募方法 推薦申請書に顔写真1枚と応募内容を証明できる写真、資料などを添えて郵送

応募締切 9月30日(月)

★推薦申請書様式請求・応募・問い合わせ先

一般財団法人 青森県社会奉仕振興会 田澤
(☎・FAX 017-743-4107)

〒030-0957 青森市螢沢4-6-12

LECTURE

チャレンジ!市民ひとり芸ースポーツ

アイスホッケー・フィギュアスケート教室

日 時 アイスホッケー教室

9月17日(火)、19日(木)、24日(火)、26日(木)
28日(土)、10月1日(火)、3日(木)の18:15~19:00

フィギュアスケート教室

9月23日(月祝)、28日(土)、29日(日)、

10月5日(土)、6日(日)の15:30~16:15

9月25日(水)、10月16日(水)の17:15~18:00



場所 三沢アイスアリーナ

対象 年長から小学校3年生まで

定員 各25人(先着順)

参加料 1,000円(滑走料7回分)

保護者、家族が直接お申し込み下さい

申込期間 9月10日(火)9:00~定員になり次第終了

※当日は手袋、帽子、防寒具、スケート靴(レンタルは300円)をご準備ください。

★申し込み・問い合わせ先 三沢アイスアリーナ(☎ 57-2100)

RECRUIT 自衛官を募集します

募集種目	試験期日	試験場所
防衛医科大学校 看護科学生(自衛官コース)	10月19日(土)	白山台公民館(八戸市北白山台)
防衛医科大学校 医学科学生	11月2日(土)~3日(日)	青森第二合同庁舎共用会議室
防衛大学校 学生(一般・前期)	11月9日(土)~10日(日)	江陽公民館(八戸市江陽2丁目)

応募資格 高卒(見込含む)以上で21歳未満の男女
(平成26年4月1日基準)

受付期間 9月5日(木)~30日(月)

※詳細については、お問い合わせください。

★問い合わせ先 自衛隊青森地方協力本部三沢募集案内所(☎ 53-1346)

ワンポイント消防

老朽化した消火器にはご注意ください!

腐食や変形などのある消火器を使用することは大変危険です。絶対に使用しないでください。

消火器の廃棄

不要になった消火器の廃棄処分(放射や解体など)を自分では絶対にしないでください。速やかに、販売店などへ依頼しましょう。

消火器の維持管理

消火器は、風通しの良いところに設置し、雨風にさらされる場所や湿気の多いところなどは避けてください。また、日頃から消火器に腐食や破損などが無いか、点検するよう掛けましょう。



住宅用火災警報器を設置していないご家庭は早急に設置しましょう。 消防本部予防課(☎ 54-4279)

INFORMATION

警察安全相談をご利用ください

9月11日は「警察相談の日」

警察では、犯罪等による被害の未然防止や県民の安全と平穏に関わる相談に応じており、相談窓口の周知と利用促進に努めています。

悩むより かけて安心 # 9110

「110」番は緊急通報用電話です。相談の場合は、警察安全相談室の専用電話(短縮ダイヤル「# 9110」番)を利用して下さい。携帯電話、PHSからも利用できます。

警察相談窓口

県警察本部 警察安全相談室	☎ 017-735-9110
三沢警察署 警察安全相談係	☎ 0176-53-3145 内線217
配偶者からの暴力、ストーカー相談	☎ 017-723-4211 内線3029
性犯罪被害110番	☎ 0120-89-7834
少年の家庭、学校、友人問題等相談	☎ 0120-58-7867 (ヤングテレホン)
暴力団問題の相談	☎ 017-723-8930

身边な人の大切な命を 守りましょう

よく考えよう
ぼくらの命
うまれた意味を

9月10日から16日は自殺予防週間です。

自分のまわりにいる大切な人の命を守るために、自殺についての誤解や偏見をなくし、正しい知識を持つことが重要です。追い込まれた末の死であると考えられる自殺は、誰かが手を差し伸べることで防げる可能性があります。

心の健康はなぜ大切な?

風邪をひいたり、疲れがたまつたり、体の調子を崩すと休養や治療が必要です。心の健康も同じで、生活習慣や仕事内容、疲労など、さまざまな要因が重なり、体調を崩すときがあります。早めに気付いて対応することで、生活への影響を最小限にとどめることができます。

気付いていますか? あなたのストレス

自分の状態をよく知り、どうにもできなくなる前に解消していくことが大切です。

ストレスに強い生活ポイント

- 運動 短時間でも楽しみながら体を動かす習慣がある
- 仕事 やりがいを感じる一方で疲れ過ぎないようにペース配分できる
- 休養 1日の中に心身を休める時間がある
- 食事 バランスよく食べている
- 睡眠 ぐっすり眠れて目覚めがよい

ゲートキーパーの輪を広げましょう

ゲートキーパーは「命の門番」ともいわれています。あなたの周りにいる大切な人が、悩んでいるように見えたら…

「気付き」→「声を掛け」→「話を聞いて」→「必要な支援につなげ」→「見守る」

これがゲートキーパーの役割です。高度な専門知識・技術は必要ありません。相手の話を聞いて、一緒に考えることも支援です。まずは声を掛け、必要なときは専門家に相談しましょう。

三沢市の心の健康づくり・自殺対策など

- ▷こころのケア相談 専門相談員が電話・面接で相談を受けます。
専用電話☎ 57-0029
- ▷メンタルチェックシステム「心の体温計」 パソコンや携帯電話で心の健康状態を把握
- ▷ゲートキーパー養成講習会
- ▷自殺予防講演会 ▷保健師の相談・訪問
- ▷精神保健福祉ボランティアによる「ひだまりサロン」開催など
さまざまな悩みや問題は、一人で抱え込まず、誰かに話してみましょう。
- 問い合わせ…保健相談センター ☎ 57-0707



9月の保健 だより

長谷川 海星（みあ）ちゃん／10カ月

休日救急診療			
9月 1日（日）	平山泰照皮膚科医院	53-1255	
9月 8日（日）	下田診療所	0178-56-3116	
9月 15日（日）	中山内科医院	52-7752	
9月 16日（月祝）	石田温泉病院	0178-52-3611	
9月 22日（日）	得居泌尿器科医院	50-1333	
9月 23日（月祝）	すずき小児科内科クリニック	52-6555	
9月 29日（日）	柿崎外科医院	57-1151	
10月 6日（日）	あいざわクリニック	58-7370	
※ 17時以降の夜間救急診療は当番制ではありません。			

健康診査・保健相談

内容・対象	月 日	時 間	場 所
ハローベビークラス（両親学級）	9月 5日（木）	13:30～16:00 (受付 13:15～13:30)	
内 容 沐浴実習 ＊予約制です。当日は、動きやすい服装で母子手帳をお持ちください。			
4カ月児健康診査	9月 10日（火）	受付 12:45～13:15 ＊ブックスタート事業(絵本の読み聞かせや絵本のプレゼント)があります。	
親子すくすく広場	9月 10日（火）	9:30～11:30 (受付 9:30～10:00)	
母 子			保健相談センター
対 象 5～7カ月児 内 容 計測、ベビーマッサージ、育児相談など ＊予約制です。当日は、母子手帳とバスタオルをお持ちください。			
9～10カ月児健康相談	9月 11日（水）	受付 9:30～10:00	
1歳6カ月児健康診査 (平成24年1月生まれの幼児)	9月 19日（木）	受付 12:45～13:15	
2歳児歯科健康診査 (平成23年4月生まれの幼児)	9月 11日（水）	受付 12:45～13:15	
3歳児健康診査 (平成22年2月生まれの幼児)	9月 18日（水）	受付 12:30～13:00	
▶乳幼児健診では、母子健康手帳・バスタオルを持参してください。 1歳6カ月児・2歳児・3歳児健康診査では診査票などを忘れないでください。 体調不良や感染症などのときは受診をご遠慮ください。			
▶親子すくすく広場、9～10カ月児健康相談では、中学生のふれあい体験 学習が併設されますので、ご協力をお願いします。			
成 人			
栄養相談	随时受付（予約制）		
一般健康相談	月～金曜日随時	8:30～16:30	
こころのケア相談	9月 5日（木）	10:00～12:00 13:00～15:00	
電話相談	9月 20日（金）	10:00～15:00	
面接相談			
＊面接は前日までに要予約 ☎ 57-0029（専用電話）			

献血の お知らせ

日 時	場 所
9月 27日（金）10:00～16:00	（協）三沢建設業協会

問い合わせ…保健相談センター ☎ 57-0707

LECTURE イクメン・カジダン育成講座

家族にモテるパパになる&パパがつくるパパっとクッキング

イクメン・カジダンのカリスマ講師が三沢に来ます!
「パパ料理」で家族を幸せにしたいパパ集まれ!

日 時 9月 28日（土）10:00～15:30

場 所 勤労青少年ホーム

講 師 ナギサカフェ主宰 なぎさ なおこ 氏
NPO法人コヂカラ・ニッポン代表
川島 高之 氏

参 加 料 500円（材料費）

定 員 25人（先着順）

申込締切 9月 20日（金）



★申し込み・問い合わせ先

Resonance（レゾナンス）（☎ 070-5629-5679）

INFORMATION

はちのへ若者サポートステーションが開設

「コミュニケーションが苦手」「働きたいけど自信がない」「自分に合う仕事がわからない」「面接のアドバイスがほしい」など、さまざまな悩みを抱えた若者の自立と就労をサポートするために、専門家による支援を行います。保護者の方からのご相談も受け付けています。

時 間 10:00～18:00（予約制、日・祝日・年末年始は休み）

場 所 八戸市十三日町4-1（ヴィアノヴァビル隣）

対 象 おおむね 15～39歳で無業状態の方

相 談 料 無料

支援内容 コミュニケーションセミナー、職場体験、就業支援セミナーなど（※仕事のあっせんは行いません）

無料出張相談会

日 時 9月 18日（水）
10:00～17:00

場 所 勤労青少年ホーム

※電話での予約が必要です。

★予約・問い合わせ先

はちのへ若者サポートステーション（☎ 0178-51-8582）

MEDICAL INFORMATION 子宮・乳がん集団検診が始まります

今年の子宮がん・乳がん検診は受けましたか？

ご自身の健康管理のために、2年に1回は検診を受けましょう。また、検診無料クーポン券をお持ちの方は、随時検診を受け付けていますので、ご利用ください。

期 間 9月 26日（木）～11月 8日（金）の14日間

場 所 保健相談センター

内 容 子宮頸がん・卵巣がん・
乳がん（マンモグラフィー・視触診）・
甲状腺の検診

申込方法 対象者へ事前に郵送している
申込はがき（白・ピンク）を
保健相談センターに持参または
郵送してください。



★申し込み・問い合わせ先 健康推進課（☎ 57-0707）

INVITE

県営桜町団地の入居者を募集します

募集戸数 3人以上世帯用 3LDK 1戸

場 所 桜町3丁目1番21号（図書館付近）

家 賃 月額 25,100円～

※所得に応じて決定。敷金は家賃の3カ月分。

募集期間 9月 6日（金）～20日（金）

入居日 11月 1日（金）

選考方法 入居資格を審査の上、抽選で決定

入居資格 次の①～④の全てに該当する方

①住宅に困っていること

②同居者が親族であること

③所得が政令で定められた金額以下であること

④暴力団員でないこと

※ペットの飼育、持ち込みは禁止します。

※詳しくは、お問い合わせください。

★申し込み・問い合わせ先

建築住宅課
(内線 260・263)



広告

広告

織笠 正則さん(左)

谷地頭在住の79歳。妻のミワさん(右・77歳)と野菜作りを続けつつ、12～13年前からブルーベリーを作り始める。遠方に暮らす子どもたちから応援され、失敗を重ね苦労しながらも、見事なブルーベリーを育てた。



MISAWA SPIRITS

地域で頑張る人々を紹介します

「喜んでもらえるのが一番うれしい」

失敗積み重ねながらも諦めず、家族で育てたブルーベリー

農業や食に関心を持つてもらうと、おいらせ農協が毎年8月に開催している体験型イベント。その中で参加者は、谷地頭にある織笠正則さんのブルーベリー畑を訪れ、収穫の魅力を堪能している。元々野菜農家だった織笠さんがブルーベリー作りを始めたのは、今から12～13年前。高齢の両親を心配した東京の息子から「人気があり、比較的少ない体力でも作れるのは」と勧められたのがきっかけだ。その息子が送ってきた苗木を、家の前の1反歩(約3百坪)にも満たない畑に植え、暗中模索で作り始めた。未経験の上に、植え方も育て方も分からず、何年も失敗を繰り返したという。なかなか実をつけず、つけたとしても小さい。時には大きな実をつけることもあつたが、3年も経てば小さくなってしまう。品種を変えながら試行錯誤を繰り返し、悩み続ける織笠さん夫婦を助けたのは、また息子だった。茨木の専門家の下に通い、見聞きした知識を織笠さんに伝えた。失敗の原因は根にあるという専門

家の教えに従い、植え方を変えると、次第に収穫量は増加。実も大きくなつていった。6～7年前からは安定した収穫を見込めるようになり、農協や市場、道の駅に出荷。夫婦の主な収入源となるほどまでに至つた。

今では8～9反歩に広がった織笠さんのブルーベリー畑に、20種以上、千本を超える木が整然と並んでいる。収穫時期には、その場で食べられる『ブルーベリー狩り』も、提供しており、市内外から訪れる人々が後を絶たない。

「おっきい！」「あまい！」

この日も、畑のあちこちから驚きと喜びの声が聞こえる。「今にして思えば、やつてよかつた。来てくれた人に喜んでもらえるのが一番うれしい」。そう話して織笠さん夫婦は、また、朗らかに新たな訪問者を迎えた。

「もし、定年を迎えた息子たちが帰ってきたら、ブルーベリーのジャムを作りたい」。失敗を重ねながらも、家族に支えられ、諦めずにブルーベリーを作り続けてきた織笠さんは、夢を語りほほ笑んだ。

人口と世帯数　—7月末現在—

■人口 41,752人(－127人)・男 20,487人(－67人)・女 21,265人(－60人) ■世帯数 18,795世帯(－24世帯)

広報みさわ9月号は14,000部発行し、1部あたりの印刷製本費は68円です。